

KN グローカルリサーチレポート 2016年12月 No.8



日ごとに寒くなり、落ち葉が舞う師走となりました。

トランプ次期米大統領が掲げた「アメリカ・ファースト」。法人税減税や巨額の財政出動などが期待されるため、米国経済を強くするとして、投資マネーが米国に流入しており、円を始め、東南アジアの新興国通貨が下落しています。生産拠点を東南アジアに持つ企業にとっては為替レートが気になります。

また、選挙期間中より、TPP（環太平洋経済連携協定）からの離脱、「メキシコとの国境に壁を作る」、「米国産牛肉並みに、日本からの輸入自動車に関税をかける」、中国に対する強気の発言などがあり、保護主義的とも受け止められます。新大統領の政策を注視する必要がありますが、一方で、企業においては、現状を把握し認識することで、中長期的視点で展望することも大切と思われます。

表とグラフは、2015年の、米国の財（物品）の国別輸出入金額の統計です。

■米国の財の輸出入金額 単位:100万ドル

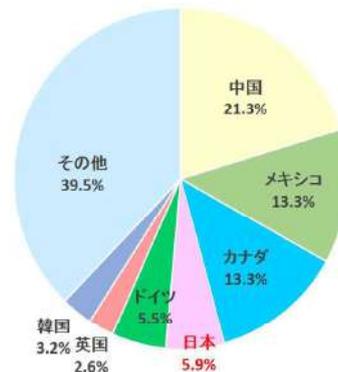
相手国	輸出金額	輸入金額	貿易収支
カナダ	281,328	302,655	▲21,327
メキシコ	235,828	303,346	▲67,518
中国	116,701	484,118	▲367,417
英国	56,532	58,563	▲2,031
日本	63,999	134,290	▲70,291
ドイツ	50,059	125,434	▲75,375
韓国	44,395	58,563	▲28,035
合計	1,510,302	2,272,867	▲762,565

米国商務省の貿易統計より作成 2015
U.S.International Trade Goods & Services

■米国の輸出相手国



■米国の輸入相手国



- ・貿易収支は7,625億ドルの赤字。そのうち約半分が中国との貿易赤字。
- ・隣接するカナダとメキシコの貿易が約3割を占めている。
- ・日本への輸出額は640億ドル、日本からの輸入額は1,343億ドルで、703億ドルの赤字

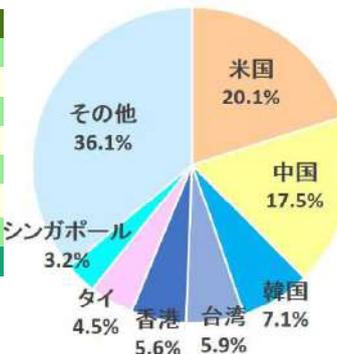
一方、日本の財務省の貿易統計によると、2015年、米国は最大の輸出先で、1,259億ドルと輸出金額全体の2割を占めています。輸入も中国に続き2番目で666億ドルとなっており、日本の対米国貿易収支は約600億ドルの黒字となっています。（裏面に続く）

■日本の財の輸出入金額 単位:100万ドル

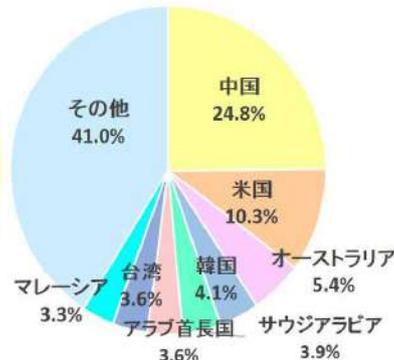
相手国	輸出金額	輸入金額	貿易収支
米国	125,852	66,638	59,214
中国	109,266	160,675	▲51,409
韓国	44,049	26,829	17,220
台湾	35,958	23,290	12,668
オーストラリア	12,851	34,830	▲21,979
サウジアラビア	6,828	23,081	▲16,253
タイ	27,999	20,437	7,562
合計	625,068	648,343	▲23,275

財務省の貿易統計より作成 2015

■日本の輸出相手国



■日本の輸入相手国



***** ~ バンコクの風 ~ *****

クリスマスが近づくにつれ、日本では恋人探し、プレゼント探しなどで浮足立つ頃でしょうか。

タイのカップルにとっては、11月にロイクラトーンというイベントがあります。いわゆる灯籠流しです。元々は水の精霊に感謝を捧げるお祭りでしたが、いつしかその幻想的な風景は恋人たちのためのイベントになりました。

国王崩御に伴い、有名なイベントは中止となっていますが、幾つかのイベントはしめやかに行われました。バナナの葉や花々を使った南国色の灯籠は、また日本と違った情景を生み出します。(バンコク・影山)



■ 米国のサービス貿易輸出入額 単位：100万ドル

相手国	輸出金額	輸入金額	貿易収支
カナダ	56,436	28,992	27,445
メキシコ	31,509	21,930	9,579
中国	48,444	15,108	33,336
英国	66,930	52,891	14,039
日本	44,315	29,411	14,905
ドイツ	29,762	31,668	▲1,906
インド	18,107	24,693	▲6,585
合計	750,858	488,659	262,199

米国商務省の貿易統計より作成
U.S. International Trade Goods & Services

左表は米国のサービス貿易（金融、運輸、旅行、情報通信など）の国別輸出入金額です。表面の財の貿易が赤字であるのに対して、サービス貿易は約 2,600 億ドルの黒字です。

- ・ 対日本では、約 150 億ドルの黒字（財の貿易では約 700 億ドルの赤字）
- ・ 対インドでは、約 65 億ドルの赤字

米国は、全世界において、金融やインターネット関連の強さが、統計からもわかります。

リスタートアップ® インタビュー その4 「切実なニーズ」と「JTBD」

インタビューでは、『一人の具体的な顧客の「困っている事（切実なニーズ）」が「片付いている JTBD (Jobs to be Done)」か』を確認する。

顧客は、困っていることがあれば、それを解決するために何らかの対策をとっている場合が多い。しかし、何も対策をとっていなければ、それは切実な困り事ではないため、その困りごとを解決する商品やサービスを提供しても売れない。また、顧客が、既に何らかの対策をとりその対策に満足している場合も、そこに商品やサービスを提供しても売れない。

様々な人にインタビューを繰り返すことで、とりあえず何らかの現状対策をしている人を見つけ出し、創業者が考える商品やサービスが、その人の「とりあえずの現状対策」以上の効果や満足度を高めることができるかを検証していくのである。

執筆 = 西川公一郎：元浜松市議会議員、防災士
(公社)子どもの発達科学研究所 事務局長
(一財)日本総合研究所 客員研究員
浜松市中区 在住 ko-ichi@24kawa.org